

能は歌舞(謡と舞)を中心に構成された演劇です。シテ(主人公)は神、武将の霊、草木の精、鬼など様々で、
 節(メロディ)を付けた「謡」を謡い。哀しい、嬉しいといった感情を表現する場面では舞を舞います。
 狂言は中世の口語による会話劇です。おっちょこちょいな人や偉ぶった人が現れ、
 現代の私たちが見ても笑ってしまうような風刺劇がたくさんあります。

狂言「口真似」

知人から樽酒をもらった主人は、一人で飲むのもどうかと、酒の相手にして面白い人と呼んでこいと太郎冠者に言いつけます。誰に声を掛ければ良いのか困った太郎冠者ですが、思い浮かんだ人物は、有名な酒乱の人物。主人に追い返せと言われた太郎冠者ですが、さてどうするのか...



能「小袖曾我」 ©公益社団法人能楽協会

能「小袖曾我」

鎌倉時代初頭、源頼朝が富士山麓で狩りの催しを企画していました。
 工藤祐経の家臣である曾我祐成と時致の兄弟は、父の仇を討つためにこの機に乗じて計画を進めていました。
 かつて寺を出て母に勘当された過去を持つ時致。弟を許してもらおうと、祐成は母にお願いをするがうまくいかず、最終的には自身も勘当されかけてしまいます。祐成は弟の気持ちを伝え、狩場へ向かう決意を語り、母に対して恨み言を言いました。あわてた母は兄弟を許し、酒宴を開いて送り出すことで勘当を解きます。兄弟は喜びの涙を流しつつ、母とともに門出の酒宴を催して、颯爽と舞を舞うと、狩場へ出発してゆくのでした。

第17回 高校生のための能楽鑑賞会

◆ 狂言「口真似」 善竹 隆司

◆ 能「小袖曾我」 梅若 猶義

令和6年7月15日(月・祝) 14時開演(13時半開場) ※16時半終演予定

参加無料 会場 **大槻能楽堂**

但し、申込みが必要となります

【対象】高校生および引率教諭(教諭のみでは参加は出来ません)

【定員】220名先着順

【申込方法】右下のQRコードを読み取りいただきお申込みください
 後日メールにてご連絡申し上げます

※QRコードが読み取れない方は下記【お問い合わせ先】までお知らせください

●氏名 ●学校名 ●連絡先(メール)を明記の上、お申込みください

学校単位でのお申し込みは

●学校名と教諭名、参加人数、連絡先(メール)を明記ください

参加お申込みは
こちらから



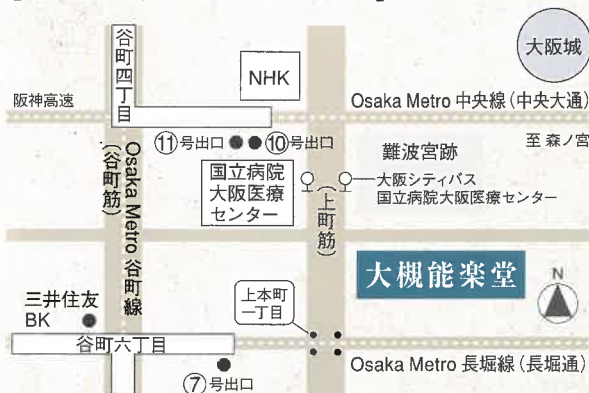
【申込受付期間】

令和6年6月19日(水)～7月10日(水)

【お問い合わせ先】

koukousei.nougaku@gmail.com

[大槻能楽堂へのアクセス]



- Osaka Metro 谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車、
 ⑩号出口を出て南へ約300m。(⑪号出口にエレベーターあり)
 またはOsaka Metro 谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅下車、
 ⑦号出口を出て北へ約350m。(⑦号出口にエレベーターあり)
- 大阪シティバス「国立病院大阪医療センター」バス停下車、南へすぐ
 *「大阪駅前」から62号系統「住吉車庫前」行き乗車
 *「あべの橋」から62号系統「大阪駅前」行き乗車

◆◆◆◆◆ 申込頂きました方には返信メールを差し上げますので、パソコンからの受信可能な環境でお待ちください ◆◆◆◆◆

本公演における写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は著作権・肖像権に触れますのでご遠慮いただきますようお願いいたします